

REAAA 評議員会中間会議 出席報告

黒 田 孝 次*

まえがき

橋場（日本道路協会 代表評議員：REAAA 副会長）と黒田（高速道路調査会 代表評議員）の2名が評議員会中間会議（11月7日開催）に参加した。今回の中間会議は7月に開催された前評議員会（第107回評議員会：マニラ開催）と次回（2018年5月）ブリスベンで開催予定の第108回評議員会との間が10カ月あり、活動の進捗状況を確認するための中間会議として、REAAA 本部のマレーシア・クアラルンプールに会長、副会長、財政長、事務総長、および主要評議員が集合した。

ここでは、第107回評議員会の議事録確認から始ま



マレーシア公共事業省道路総局玄関にて

* REAAA 評議員

り、財務委員会、技術委員会、フェロウシップ・プログラム、副会長の1名追加、REAAA 三野ベストプロジェクト、新しいREAAA ファンド、第109回評議員会の開催などについて議論された。

概要報告

(1) 中間会議の議題

今回の会議は前回のマニラで開催された第107回評議員会の中で多くの活動方針が決議され、その実現のために本部、メンバー国、各委員会メンバーで行動が執られているが、次回（第108回評議員会）開催される会議まで猶予できない喫緊の課題について議論された。しかし、評議員会の権限を持たない中間会議として、自由な議論もなされた。

(2) 議事録確認

次いで第107回評議員会の会議録確認が行われた。場所は、会長の出身国であるフィリピン・マニラにおいて開催され、当期（第15期）の実務的な議論をする最初の会議であり、財務報告や技術委員会の内容などを中心に議事が確認された。

(3) 財務報告

今回の財務報告は2017年1月～10月末日までの10カ月間を対象にまとめられたものであり、この間の会費収入についてはフィリピンを始めとした幽霊会

員の解消（清算含む）と、その数を超える新規の会員加入に助けられ、財務改善がされていることを示している。しかし、現時点のPLが示されているだけで、REAAAの予算計画策定のための適切な資料が出されていない。このため、収入と支出を項目別に整理したレポートを提出させ、今後5カ年の収支計画、それに必要な増収、コスト削減の方策を議論することにした。

(4)技術委員会

技術レポート“TC-8 Pavement Maintenance and Rehabilitation”が完成し、配布の過程。新しいニュースレターも配布。一方、TC-9については校正がほぼ終了し、印刷配布のための費用確保に欠かせない広告の確保に視点に移りつつある。広告募集が各国に呼びかけられた。

(5)副会長、推薦評議員の増員

副会長を3名から1名増員、推薦評議員を10名から15名へ5名増員に必要な憲章改正については、10月31日に事務局から各国、各チャプターに資料送付済み。増加分の副会長職はインドネシア道路総局に充てられることになり、担当業務は会員の増加になる予定。

(6)REAAA 三野ベストプロジェクト賞関連

次回、2021 総会においても、この賞が授与される。準備を評価委員長（橋場氏）とフィリピンで今後進めることで合意。

(7) Disaster Management Seminar と第 109 回評議員会の開催に向けて

このセミナーが2018年11月に世界道路会議（PIARC）とベトナム道路総局との共催で開催されるため、以前から検討依頼のあったREAAAの共催について肯定的に議論された。また、会長からベトナム道路総局に宛てて文書が出され、同時期にREAAA評議員会を合わせて開催できないか検討を依頼している。さらにベトナムにメンバー国になってほしい旨も併せて依頼している。

(8) Hwang Fund (ファン氏基金)

韓国のREAAA名誉会員であるHwang氏から韓国チャプターを通して基金創設の申し出があり、この基金から総会のタイミングで受賞者を表彰することが



MOU 調印の様子

決められた（4年に1度、功績が認められた1人に10,000ドルの賞金）。そのためのMOUが会長と韓国チャプターとの間でサインされた。受賞者選考委員会には各チャプターと日本が参加することを了承。

(9)次回の評議員会

次回の第108回評議員会は2018年5月にオーストラリア・ブリスベンで開催されることが再確認された。

あとがき

中間会議ではあったが、評議員20名程度の参加があり効率的に会議は進められた。やはり評議員が集まれば、財務状況についての議論に多くの時間が取られ、収支の改善について各国が宿題を持ち帰ることになる。幸い、日本の会員は会費を積極的に納入している優等生である。しかし、その他の収入に寄与する法人会員、個人会員の勧誘、およびジャーナルや技術報告書への広告掲載などに期待されている。この課題については、日本の法人や道路技術者に対してREAAA会員になることの利点、広告掲載の効果を分かりやすく説明することが必要であるが難題で永遠の課題である。

ここでは評議員会での活動を報告しているが、REAAAの活動ではイニシアティブを執り日本の進んだ技術をREAAA諸国に紹介することが、われわれの重要な仕事である。日本の民間会社が持つ優れた技術をREAAA諸国に紹介するために、特に民間の若手技術者のREAAAでの活躍、各国の若手技術者とのネットワーク形成が望まれる。これを可能にするために民間会社のREAAA活動へのさらなるご理解とご支援を期待したい。